

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	人間ドック検査料補助事業 (国民健康保険会計)	事業コード	1364
-----------	-------------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	332
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進	

PLAN(計画)	部署名	国保年金課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	人間ドックの受診により病気の早期発見、早期治療につなげ、被保険者の健康維持とともに医療費の抑制を図る。				
	概要	人間ドックを受診した30歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、検査費用の一部を補助する。また、検査の結果要観察以上の人には医療機関への受診を促す。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	その他			
	内容	当市で確保した病院で人間ドック受診枠での受診に対して、費用の一部を補助する。応募者多数の際は抽選。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	人間ドック受診対象者への通知回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	当該事業定員に対する受診者の割合		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	96.8	98.0	95.6		
	計算根拠	(人間ドック受診者数+脳MR I受診者数) / 人間ドック受診者定員 H24までは人間ドック受診者に占める60歳未満の男性の割合を指標としていたが、H25に対象年齢を拡大したことから定員に対する受診者の割合に変更、H28に脳MR		達成率(%)	96.8	98.0	95.6		
				実数値	484/500	490/500	478/500		
			ランク	A	A	A			
会計	国民健康保険事業特別会計		事業要員	正規職員	0.2				
事業タイプ	交付金事業		事業要員	臨時・嘱託					
経費区分	補助費等		事業要員	※所要時間	140				
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	15,431	15,938	15,965	15,496	13,480	県2号調整交付金		
	決算額	14,310	14,460	14,343					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	応募者多数の為、抽選となる程で、ニーズ有。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	受診料金助成事業のため、保険者（市）が実施すべき。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	受診料は診療報酬積み上げで決められており、コスト削減の余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	受益者負担の引き上げを求める方法が考えられるが、現在約4割を負担しており、他市の状況を比較検討すると現時点では困難。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	設定した受診枠を有効に活用するよう、キャンセル等の場合の連絡を早目にしてもらう等の周知を行う。		

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み 定員と年齢枠（30歳～74歳）を維持して実施する。	令和2年度計画 年齢枠（30歳～74歳）を維持して実施する。なお、被保険者数の減少にもなって、定員数の見直しを実施した。

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施